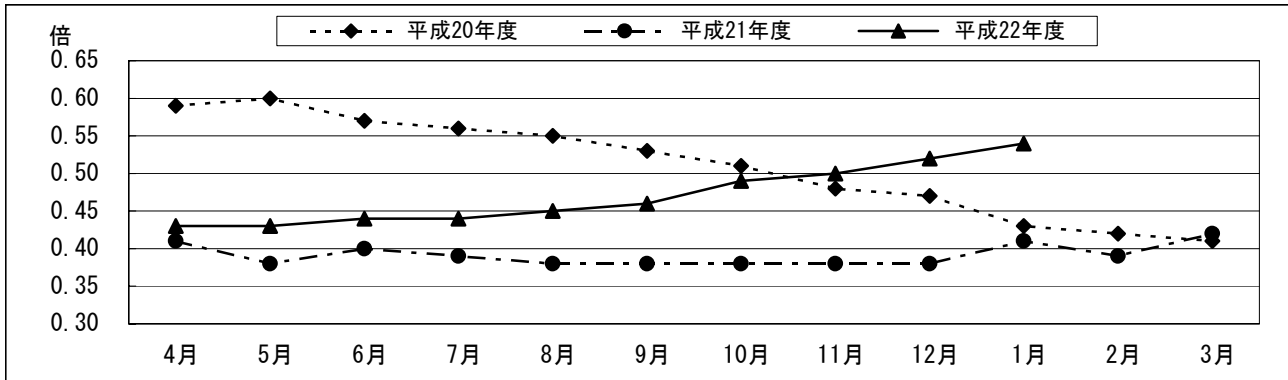


## 有効求人倍率の推移（季節調整値）



## 職業紹介主要指標

項 目		23年 1月	22年 12月	前月比 (差)	22年 1月	前年同月比 (差)	
全数 (パートを含む)	1. 新規求職申込件数	7,823	4,772	63.9	7,454	5.0	
	2. 月間有効求職者数	25,436	24,375	4.4	26,391	▲ 3.6	
	3. 新規求人数	6,632	5,178	28.1	5,508	20.4	
	4. 月間有効求人数	14,954	13,944	7.2	11,816	26.6	
	5. 紹介件数	11,287	8,280	36.3	12,663	▲ 10.9	
	6. 就職件数	1,990	2,020	▲ 1.5	2,011	▲ 1.0	
	7. 充足件数	1,896	1,890	0.3	1,895	0.1	
	比率	8. 有効求人倍率(倍)	季調値 0.54 原数値 0.59	0.52 0.57	0.02 0.02	0.41 0.45	0.13 0.14
		9. 就職率 $\frac{6}{1}$ (%)	25.4	42.3	▲ 16.9	27.0	▲ 1.6
		10. 充足率 $\frac{7}{3}$ (%)	28.6	36.5	▲ 7.9	34.4	▲ 5.8
中高年 (パートを含む)	11. 新規求職申込件数	2,849	1,740	63.7	2,493	14.3	
	12. 月間有効求職者数	10,541	10,189	3.5	10,913	▲ 3.4	
	13. 紹介件数	4,086	2,895	41.1	4,126	▲ 1.0	
	14. 就職件数	640	645	▲ 0.8	648	▲ 1.2	
	15. 就職率 $\frac{14}{11}$ (%)	22.5	37.1	▲ 14.6	26.0	▲ 3.5	
雇用保険	16. 適用事業所数	19,539	19,523	0.1	19,441	0.5	
	17. 被保険者数	270,393	271,233	▲ 0.3	263,710	2.5	
	18. 離職票提出件数	2,341	1,210	93.5	1,866	25.5	
	19. 受給資格決定件数	1,716	1,065	61.1	1,749	▲ 1.9	
	20. 受給者実人員(所定内)	6,372	6,546	▲ 2.7	8,126	▲ 21.6	
	21. 総支給金額(千円)	781,987	762,291	2.6	1,059,100	▲ 26.2	

## 1月の雇用の動き

求職者1人当たりの有効求人数を示す平成23年1月の【有効求人倍率】(季節調整値)は、前月を0.02ポイント上回り0.54倍となった。

【有効求人】は、(季節調整値)前月比で4.8%増、前年同月比で26.6%増(11か月連続)。

【有効求職】は、(季節調整値)前月比で0.9%増、前年同月比で3.6%減(10か月連続)。

【新規求人】は、前年同月比で20.4%増(11か月連続)、【新規求職】は同5.0%増(2か月ぶり)となった。

【新規求人数】は、一般21.5%(783人)増、パート18.2%(341人)増、全体で20.4%(1,124人)増となった。

産業別にみると、卸売業、小売業が14.8%(131人)増で13か月連続の増加、医療、福祉は35.6%(446人)増で8か月連続の増加となった。また、農林漁業は62.4%(128人)増で5か月連続、学術研究、専門、技術サービス業は91.6%(98人)増で4か月連続、生活関連サービス業、娯楽業は42.1%(83人)増で3か月連続のそれぞれ増加となった。一方、建設業は13.3%(59人)減で3か月ぶり、情報通信業は21.2%(44人)減で2か月連続の減少となった。

【新規求職者数】は、一般3.8%(210人)増、パート8.0%(159人)増、全体で5.0%(369人)増となった。

“パートを除く常用求職者”を求職時の態様別にみると、自己都合離職者は1.4%(29人)増で2か月ぶりの増加となり、無業者は22.1%(107人)増で23か月連続、在職者は23.8%(276人)増で12か月連続のそれぞれ増加となった。一方、事業主都合離職者は15.5%(224人)減で14か月連続の減少となった。また、常用求職者を職業別にみると、販売の職業は11.9%(104人)増、生産工程・労務の職業は3.6%(61人)増でそれぞれ2か月ぶりの増加となり、また、専門的・技術的職業は6.6%(74人)増で4か月連続、サービスの職業は14.4%(91人)増で3か月連続の増加となった。一方、管理的職業は30.0%(3人)減で2か月連続の減少となった。

“パートを除く常用求職者”を5歳刻みの年齢階層別(11区分)にみると、55歳～59歳は10.1%(41人)増で5か月ぶりの増加となった。また、19歳以下は23.6%(35人)増で12か月連続、60歳～64歳は24.8%(80人)増で8か月連続、50歳～54歳は10.0%(41人)増で2か月連続のそれぞれ増加となった。一方、25歳～29歳は2.8%(25人)減、35歳～39歳は3.0%(20人)減でいずれも2か月連続の減少となった。

【職業紹介状況】は、紹介件数が10.9%減の11,287件となり、就職件数は1.0%減の1,990件となった。就職件数が前年同月を下回るのは23か月ぶりである。うち、パートの紹介件数は5.8%減の2,960件となり、就職件数は5.8%減の630件となった。就職率(対新規求職者)は、1.6ポイント下回って25.4%となった。就職率が前年同月を下回るのは15か月ぶりである。

本県の労働市場は、有効求人倍率(季節調整値)が0.54倍となり、対前月差では0.02ポイント上昇、前年同月差では0.13ポイント上昇し11か月連続の上昇となった。有効求職者数も増加したが、有効求人数の増加が上回り改善につながった。

新規求職については、前年同月差5.0%増で2か月ぶりの増加となった。大浦橋を管内に持つハローワーク都城については、同18.8%増となった。事業主都合離職者は大幅な減少が続いているが、自己都合離職者が増加に転じ、また、無業者や在職者が引き続き増加している。一方、新規求人は卸売業、小売業、医療、福祉をはじめ増加を継続する産業が多く、全体では20.4%増で11か月連続の増加となった。有効求人倍率は、昨年の当初より緩やかながらも順調に上昇してきているが、今後については、全国の景気が足踏み状態となっていることの影響や鳥インフルエンザ、新燃岳の噴火による本県経済に与える影響等を注視する必要がある。

○非正規労働者の雇止め等状況(30人以上離職予定)については、当月は該当が無かった。